

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5618 大衆芸能の社会史			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	金曜3限				
教室	H402教室				
代表教員	長尾 洋子				
担当教員	長尾 洋子				
テーマと到達目標	「20世紀前半の日本社会と音楽文化」 1. 明治30年代から昭和期にかけての大衆芸能の様態とその移り変わりを、庶民の視点から、社会情勢や価値観の移り変わりなどと関連付けながら学ぶ。 2. 学んだことをベースに、総合文化学科の専門科目にふさわしい思考力、文章力を培うことを目指す。				
概要	現代においては音楽を商品として手に入れ、個人の楽しみとして消費する場面が圧倒的に多い。この授業では、そうした音楽のあり方を相対化し、より自由で多様性にとんだ音楽（ないし音楽生活）を探究するための知識やアプローチを紹介していきたい。ポピュラー音楽や娯楽（エンターテインメント）、レジャーに関心のある学生はもちろん、都市文化、複製技術、無名の人々の歴史に興味を持つ者を歓迎する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	9/18 イントロダクション				対面授業
第2回	9/25 芸能と文明開化(1)				対面授業
第3回	10/2 芸能と文明開化(2)				対面授業
第4回	10/9 流行歌の生産：カチューシャの歌から新民謡まで				対面授業
第5回	10/16 フィードバック&フォーワード				対面授業
第6回	10/23 浅草オペラ				対面授業
第7回	10/30 子どもと大衆音楽				対面授業
第8回	11/6 宝塚少女歌劇団(1)				対面授業
第9回	11/13 宝塚少女歌劇団(2)				対面授業
第10回	11/20 フィードバック&フォーワード				対面授業
第11回	11/27 ジャズ来る				対面授業
第12回	12/4 ジャズの隆盛				対面授業
第13回	12/11 ある歌の転生物語				対面授業
第14回	12/18 よりよいレポートを書くために				対面授業
第15回	1/8 まとめ				対面授業
成績評価の基準	出席、各回コメント、学期末課題 ※各回コメントは5点満点で採点する。 ※全開講回数の3分の2以上出席した者が成績評価の対象となる。				
履修にあたっての留意事項	授業内で指示する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	なし	教科書(ISBN)	
参考文献		参考文献(ISBN)	細川周平（2020）『近代日本の音楽百年 一黒船から終戦まで』全4巻、岩波書店 奥中康人（2008）『国家と音楽：伊澤修二がめざした日本近代』春秋社 大西由紀（2018）『日本語オペラの誕生—鷗外・逍遙から浅草オペラまで』森話社 中野正昭編（2015）『ステージ・ショウの時代』森話社 永井良和（2024）『ジャズとダンスのニッポン』関西大学出版部 垣沼絢子（2024）『近代日本の身体統制—宝塚歌劇・東宝レビュー・ヌード』人文書院 毛利真人（2010）『ニッポン・スウィングタイム』講談社 その他、授業中に指示する。

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--